

CASSIOPEIA—UHC達成に向けて、対象の5つの病院における、5つ星に輝く質の高い医療ケアサービスを目指して

JICA ルサカ郡総合病院運営管理能力強化プロジェクト



2024年2月4日、ヒーローズスタジアムのコレラ治療センターにおいて、カシオペア・プロジェクトの法月チーフアドバイザー、JICAザンビア事務所の泉次長、マセボ保健大臣、リシンピ保健省常任秘書、ヒチレマ ザンビア大統領訪問の様子

日本大使館使節
ルサカ州保健局を訪問

ルサカ州行政職員
内閣府主催のバラン
ススコアカード研修
に参加

フォトフォーカス



日本大使館使節、ルサカ州保健局局长を訪問



州保健局ムシスカ医師、チョンガルサカ州保健局長、大湊日本国大使館次席、JICA ザンビア事務所泉次長

2024年2月6日、大湊諭、在ザンビア日本国大使館次席は、日本政府高官とJICAザンビア事務所の代表と共に、チョンガ、ルサカ州保健局長を表敬訪問しました。大使館職員と東京のJICA本部の代表者も訪問に加わりました。

この訪問の目的は、日本とザンビアの友好関係を強調し、170万クワチャ以上に相当する医療機器を供与することでした。供与式典で、大湊次席は、ザンビア国民に対するのコレラの影響を軽減するために、日本政府が支援を続けていることに改めて触れ、医療スタッフの能力向上や他の技術提供を通じた日本の技術支援の継続を約束しました。

それに対して、チョンガ局長は、ザンビア全国でさまざまなプロジェクトが実施されている中、日本人が提供してくれる持続支援に感謝の意を表しました。また、局長は日本政府に対し、コレラとの闘いの最前線となっているルサカの5つの1次レベル病院の建設を支援してくれたことへの感謝を述べ、医療インフラへのさらなる拡大支援を求めました。

州保健局のムシスカ医師は、一

次レベル病院のみならず国立治療センターにも技術を支援した、- JICAカシオペアプロジェクトの法月チーフアドバイザーに感謝の意を表しました。

2023年10月、ルサカ市でコレラが発生して以来、JICAおよびJICAカシオペアプロジェクトを通じて、日本政府はザンビア保健省、州保健局および郡保健局と連携して支援を強化してきました。5つの一次レベル病院ではコレラの治療を提供、また、ヒーローズスタジアムコレラ治療センターでは感染予防対策に協力しています。

また、日本政府はカシオペアプロジェクトを通じて、ヒーローズスタジアムコレラ治療センターで使用する物品を提供し、さらに治療ユニットの標識の設置を含む、各部門の区画設定を支援しました。引き渡された物品は、消毒剤噴霧器、体温計、スタッフが使用する椅子とテーブル、血圧計、メガホン(地域の啓発活動用)、さらにルサカ州のさまざまな地域社会に設置されている経口補水ポイントのバケツや標識などです。



河内医師、萩原短期専門家、法月チーフアドバイザー



大湊諭 在ザンビア日本国大使館次席



チョンガルサカ州保健局長



上: アイテムを設置する法月チーフアドバイザー
下: JICA本部、NCGM代表が引渡式に参加



ザンビア大統領 日本とザンビアの関係を強調

2月4日、ザンビアのヒチレマ大統領は、ルサカ市のヒーローズスタジアムにあるコレラ治療センターを訪問し、ザンビアと日本、および他の協力パートナーとの関係を強調しました。

ザンビアのさまざまな省庁高官、多国籍組織や各国の外交使節団の代表と会談したヒチレマ大統領は、ザンビアとJICA、日本政府を含むグローバルパートナーとザンビアが築いている素晴らしい関係を称賛しました。

この席には、JICAを代表して、JICAザンビア事務所の泉恵次次長とJICAカシオペアプロジェクト

の法月チーフアドバイザーが出席しました。

JICAカシオペアプロジェクトは、コレラ対策で5つの一次レベル病院（チャワマ、チレンジ、チパタ、カニヤマ、マテロ）と密接に連携しています。この協力は、コレラ治療センターとして指定されたヒーローズスタジアムにも技術支援の形で拡大しました。

ヒチレマ大統領と保健省のマセボ大臣は、日本政府とJICAが、ザンビアに対して継続している支援に感謝の意を表しました。

訪問中、大統領は施設に入院している患者を見舞い、センターの

医療スタッフや支援スタッフを慰労しました。また、JICAなどの協力パートナーからの支援によって提供されたさまざまな機材を視察しました。



JICAザンビア事務所の泉次長、カシオペアプロジェクト法月チーフアドバイザー、ZNPHIプロジェクトの今村チーフアドバイザー、マセボ保健大臣

チパタ 一次レベル病院が第1回 IPC ラウンドを実施

2024年2月1日、チパタ一次レベル病院の感染予防管理チーム (ICT) が同病院で初となる感染予防管理 (IPC) ラウンドを実施しました。このチームは、ダカ環境衛生技官、テンボ看護師長 (IPC)、そしてシアメ医師 (IPC) が加わり、カシオペアプロジェクトのニャンガ専門家、萩原短期専門家、黒部JICA職員も参加しました。

ICTチームは、外来、胸部クリニック、放射線科、救急部、歯科、旧手術室、入院病棟等で、特定した課題について、IPCリンクパーソンと課題と関係する分野のスタッフと意見交換をしました。この病院では、チレンジエ病院のICTチームをカシオペアプロジェクトの支援で開発したチェックリストを使っています。このチェックリストは、各部門のIPCの手順の遵守状況を、チームメンバーと部門のIPCリンクパーソンが確認する質問リストを含んでいます。ラウンドが終わるときには、ICTチームと次にラウンドを控える部門とラウンドをいつまでに実施するか議論していました。



プロジェクト専門家がチパタ一次レベル病院のICTグループと共にIPCラウンドを実施



プロジェクトのニャンガ専門家が指導する様子

ルサカ州行政職員、内閣府主催のバランススコアカード研修に参加

2月5日から13日に、40人以上のルサカ州管理者がチョングウェに集まり、バランススコアカード(BSC)の使い方と導入の仕方について学び、議論しました。

JICAカシオペアプロジェクトの後援により、内閣府の管理開発部(MMD)は、各省庁職員、州保健局、およびチャワマ、チレンジ、チパタ、カニヤマ、マテロの一次レベル病院の管理者を対象に、BSCの機能と活用方法を紹介するワークショップを開催しました。

このワークショップの目的は、管理者の運営管理能力を開発し、異なる視点で状況を見る方法、業務で発生し

る問題を分析する方法、および意思決定や政策実践方法の訓練を行うことでした。政府の機関や部門が、そのビジョンや進むべき方向性を、阻害、促進しうる内外の要因を評価することに重点が置かれた内容でした。評価では、管理者は根拠(データ)に基づいて意思決定をし、ザンビア国民によりよいサービスを提供できるよう、適切な実践を行う必要があることが強調されていました。

トレーニング終了時、ニャンガ専門家は、プロジェクトの目標のひとつは、プロジェクトが対象とするルサカ郡一次レベル病院の管理能力の構築と強化であると述べました。また、ワークシ

ョップが、バランススコアカードを管理の意思決定に活用するという点で、いかに病院の取り組みに必要とされており、この介入が適切な時期に実施されたかを強調しました。



2024年2月5日から13日までMIKAコンベンションセンター7日間のワークショップが行われた

地域ボランティアが経口給水ポイントを設置、監視

玉 立国際医療研究センターの佐野正浩医師の指導のもと、マケニヴィラ、ジョンレイン、カニヤマの3つのコンパウンドで、地域の保健ボランティアが、下痢による重度の脱水症状を避けるために、経口補水液が入手できる新しい経口補水ポイント(ORP)を設置しました。

ORPは、大人よりも急速に脱水を起こしやすい、5歳未満の子どもを対象にしています。ORPには医療従事者は常駐しておらず、コレラが疑われる

全症例に対して治療が提供されている訳ではありません。地域の保健ボランティアは、訪問者の生体データを得て、脱水の兆候を見極めるための指導を受けました。ORPでは、訪問者の脱水兆候を見つけることに重点を置いています。下痢や嘔吐の症状がある患者には、最寄りのコレラ治療センターを受診するよう指導します。

また、地域保健ボランティアは、安全な飲料水を確保するための塩素処理や経口補水液の作り方の指導も受けました。佐野医師は、ORPステーションを設置する前に、飲料水および経口補水液に用いる水の塩素濃度を測定して、その安全性を確認しました。一部の水源は塩素濃度が低

かったため、コレラを殺菌するために塩素の追加が必要でした。



カニヤマ一次レベル病院で水中の塩素レベルを測定する河内医師

IPC ラウンド チェックリスト、郡保健局 から高く評価

州 保健局、郡保健局、JICAカシオペアプロジェクトが対象とする5つの一次レベル病院からの代表者、プロジェクトの代表者がルサカ州保健局に集まり、ルサカ地区のすべての保健施設で感染予防管理(IPC)ラウンドを実施するために、IPCチェックリストを標準化しました。

IPCチェックリストは、5つの対象病

院の感染予防チーム(ICT)が、IPCの手順を遵守しているかを評価するために用いています。これには、病院各部門の環境とスタッフの個人衛生が含まれます。

チレンジ一次レベル病院の感染症対策チーム(ICT)が、カシオペアプロジェクトの協力により開発したIPCチェックリストを、40人の参加者が修正、合意し、標準化チェックリストとして、すでに郡の保健施設に配布されています。

これによって医療施設は、チェックリストのどの部分が病院で機能して

おり、機能していないかを郡保健局に報告できるようになりました。



会議中の参加者の様子

フォト・フォーカス



JICA本部訪問団が州保健局へ訪問したときの様子



2月27日に開催されたIPCトレーニングワークショップの開催を行う州保健局のムシスカ医師



BSCワークショップの様子



ジョン・レイン地区でのORPの設置時に質問する地域ボランティア



2月4日に大統領が訪問した際のヒーローズスタジアムのコレラ治療センターにて、法月チーフアドバイザーと医療ボランティア



2月4日のヒーローズ・スタジアムでの、ヒチレマ大統領の演説の様子



JICA本部一行が訪問した際の集合写真

編集・デザイン: コンベ カパタモヨ
編集: 緒方 敬
編集長: 法月 正太郎

連絡先
法月正太郎 ルサカ郡病院運営管理能力強化
プロジェクト チーフアドバイザー

住所: Plot No.11743A, Brenwood Lane,
Longacres. P.o. Box 30027, Lusaka,
10101, ZAMBIA
Cell: +260 765 192 865 (official)